



▲しっかり根付いて大きくなってね

57

区制施行10周年記念事業として、写真資料展や屯田西公園での植樹などが行われる

大雨などの増水時に茨戸川の水を石狩湾へ流し、水害を防ぐための石狩川放水路がほぼ完成

4月、区内の人口が20万人を突破

58

1月、北区体育館が完成。バスケットボールコートが2面とれる競技室のほか、市内で初めてボクシングリングを備えた格技室も設置

7月、百合が原公園がオープン。約12万本、60種以上のユリが咲き誇る日本一のフラワーパークや日本庭園が整備される



56

2月、新琴似図書館が開館

8月、二度にわたり集中豪雨が襲来し区内各所に大きな被害をもたらす。全市の被害総額は約79億円に達したと推計される

▲腰の高さまであふれた水の中を移動する区民(茨戸北商団地)

9月、区民の代表が区内の文化財や歴史遺産を「北区歴史と文化の八十八選」として選定

2

4月、篠路清掃工場敷地内に完成したごみ資源化工場(燃料工場)が稼働。既存のチップ工場と合わせて年間約6万トンのごみが固形燃料に加工される

### 平成元年

9月、はまなす国体秋期大会が開催。北区内では高校野球(硬式)など3競技が行われる

59

8月、市内はもとより道内でも初めてという藍染めの講習会を区民センターで開催。明治以来のふるさとの色「藍」がよみがえる

60

10月、篠路コミュニティセンターがオープン。藍染室や篠路歌舞伎展示コーナーも設置



▲初めて見る藍染めに興味津々の参加者

63

11月、札幌駅周辺の鉄道高架が完成。踏切で遮断されていた交通の流れが円滑になり、札幌駅北側市街地の発展に弾みが

62

あいの里地区に北海道教育大学札幌分校が移転・開校

61

10月、造成が進むあいの里地区に国鉄札沼線あいの里教育大駅が開業。また、太平駅・新川駅も開業。区民の通勤・通学や買い物が便利になる

6月、「'86さっぽろ花と緑の博覧会」が百合が原公園で開催される。これに合わせて国鉄(現JR北海道)札沼線百合が原駅が開業

▼北区のシンボルマークを形どった花壇もありました



◀踏切が解消されたJR札幌駅周辺